

永森直人 県議会通信

発行: 富山県議会無所属クラブ 代表 永森 直人
〒939-0306 射水市手崎 363-1
TEL 0766-55-3533 FAX 55-3577
E-mail: nagamori-naoto@vivid.ocn.ne.jp

VOL.2 平成23年9月号
(平成23年10月発行)

ごあいさつ

皆様、いつもありがとうございます。

早いもので、富山県議会議員に当選させていただき、半年が過ぎました。

この間、8月29日には、富山県議会政策討論委員会が開催され、「並行在来線問題」について、議員同士が論戦を交わしました。この委員会は、夜間に高岡市で開催され、富山県議会史上初めてとなる、議場を飛び出での「出前県議会」ということで、注目を集めました。私も、委員として参加し、並行在来線の安定経営や利便性向上に関する自らの思いを、多くの市民に知っていただくことができ、大変貴重な機会をいただいたと感謝をいたしております。

また、9月定例会において、6月定例会に引き続き一般質問の機会をいただき、県政の諸課題について県の姿勢を質したところです。

年度の後半は、来年度の予算編成作業が進められ、議会の役割が一層問われる場面を迎えます。引き続き、皆様方のご指導、ご支援を賜りながら、富山県、射水市の幸せな未来を創るために頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

★ 永森 直人 9月定例会一般質問

問 並行在来線は県民福祉の向上のためにも、しっかりと守るべき社会的な資源と考えるがどうか？

答 (石井知事)

北陸本線は、県内交通機関のネットワークの結節点であり、多くの住民の通勤通学の足となっている。しかし、北陸本線は、もともとJRにおいても赤字路線であり、加えて経営分離による多額の初期投資が必要となることから、厳しい経営が予想される。一定の公的支援を行いながらも、適正な利用者負担を入れ、安定的な経営を目指す。



問 並行在来線の利用者負担(運賃設定)をどのように考えているのか？

答 (吉田知事政策局長)

現在のJRの運賃設定は、北陸本線の県内区間に必要なコストを反映したのではなく、収益性の高い関西などを含めたJR西日本管内全体の経営判断に基づき、比較的安く抑えられている。

並行在来線については、厳しい経営が予想され、先行事例においては、しなの鉄道が1.24倍、IGRいわて銀河鉄道が1.58倍など全てのケースで値上げとなっている。しかし、大幅な運賃値上げは利用者離れを招くことから、利用者負担増も考慮しながら、経営の健全性を図るためにバランスを考慮して検討を進める。

問 県内の特別養護老人ホームにおいて1,827人の待機者がいる。現在、策定中の第5期介護保険事業支援計画において特別養護老人ホームなどの施設整備をどう進めるのか？

答 (石井知事)

富山県は、特別養護老人ホームなどの施設の整備率が、全国で2番目に高い水準となっているが、それでも依然として施設への入所ニーズは高いと認識をしている。一方、世論調査などでは、在宅を中心とした生活への期待が依然として高いことから、県民のニーズを踏まえ、介護予防の推進や施設整備を含めた適切な介護サービスを提供し、平成33年度には特別養護老人ホームの待機者のゼロを目指し減少させることとしている。

トピックス1 平成23年度9月補正予算が成立！

■ 総額105億7,375万円（補正後一般会計総額5749億6,891万円）の補正予算が県議会9月定例会において審議、可決されました。

【主な事業】

①円高対策を含めた経済雇用対策

○経済変動対策緊急融資の「円高対策枠」の拡充等← 相談は、取引の金融機関か県経営支援へ
（資金繰り支援や競争力強化の設備資金等） 予算額 7億5,000万円

②安全安心の確保

○氷見市と連携しての津波対策訓練の実施 予算額 100万円

○住まいの耐震化促進事業（耐震診断や耐震改修補助など） 予算額 4,708万円

○放射能調査体制の強化 予算額 7,957万円

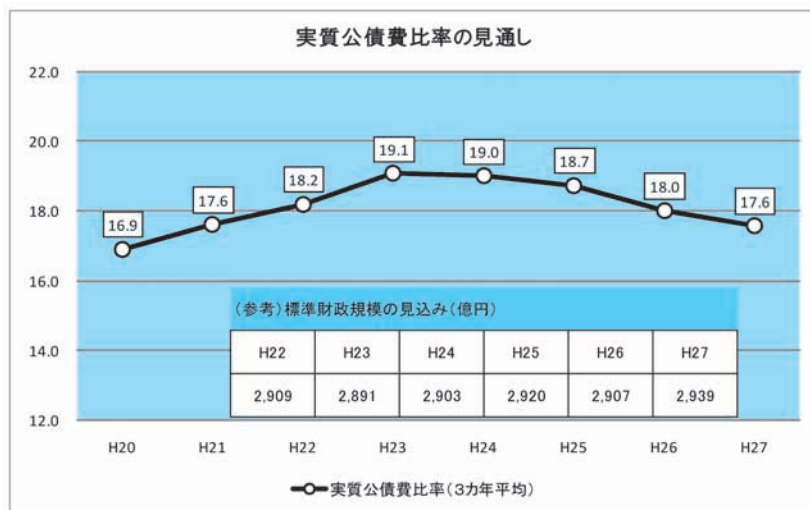
トピックス2 富山県が起債許可団体に陥る

■ 2010年度決算において実質公債費比率が18%超
県財政に占める地方債（借金）の返済割合を示す「実質公債費比率」が、前年度より0.6ポイント悪化し、18.2%となったことが県議会に報告されました。

実質公債費比率が18%を超えると、地方債を発行（借金）する場合に国の許可が必要となります。

なお、25%を超えると「財政健全化団体」として地方債の発行が制限され、35%を超えると北海道夕張市のように財政財政団体（会社でいえば倒産の状態）となります。

今後は、近年の行政改革の効果が現れはじめ、短期的には、さらに数値は悪化するものの、中期的には改善に向かい、2015年度には、17.6%まで下がる見通しです。



トピックス3 射水警察署の新築工事が着工

■ 射水警察署は、現在、旧小杉署の庁舎を活用していますが、手狭なことや、老朽化が進んでいることから移転新築することがすでに決まっていました。9月定例会において、工事請負契約の締結について可決承認され、平成25年2月末の完成に向け動き出しました。

場所	射水市今井地内
構造	鉄骨・鉄筋コンクリート4階建て
面積	5,220㎡
人員規模	約140人
特長	① 災害に強い (高い耐震性と自家発電設備) ② 利便性高い (十分な駐車場や相談室設置)



皆さんからのご意見、アイデア、ご要望をお待ちしています。

永森直人事務所

住所：〒939-0306 射水市手崎363-1

電話：0766-55-3533 FAX：0766-55-3577

E-mail：nagamori-naoto@vivid.ocn.ne.jp